

令和4年度自動車整備士技能検定試験〔学科試験〕

〔自動車電気装置整備士〕

R4. 07. 20

問 題 用 紙

〔注意事項〕

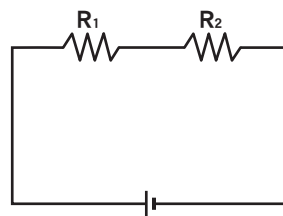
1. 問題用紙は、試験開始の合図があるまで開いてはいけません。
2. 試験時間は、**13時30分から14時50分まで**となります。
3. 問題用紙と答案用紙は別になっています。解答は答案用紙に記入して下さい。
4. 答案用紙の「受験地」、「種類」、「番号」、「氏名（フリガナ）」、「生年月日」の欄は、次により記入して下さい。なお、これらの記入がない場合、正しくない場合は、失格とします。
 - (1) 「受験地」、「種類」の空欄には、黒板等に記載された数字を正確に記入し、該当する○で囲んだ数字を黒く塗りつぶして下さい。
 - (2) 「番号」の空欄は、受験票の数字を正確に記入するとともに、該当する○で囲んだ数字を黒く塗りつぶして下さい。
 - (3) 「氏名(フリガナ)」の欄は、漢字は楷書で、フリガナはカタカナで、正確かつ明瞭に記入して下さい。
 - (4) 「生年月日」の欄は、該当する元号を○で囲み、年月日はアラビア数字で、正確かつ明瞭に記入して下さい。
5. 答案用紙の「実技試験」の欄は、該当する言葉の上の○を黒く塗りつぶして下さい。
6. 答案用紙の解答欄は、次により記入して下さい。
 - (1) 解答は、問題毎に**最も適切なものまたは不適切なものを1つ**選んで、答案用紙の注意事項に従い、答案用紙の解答欄の①～④の数字を黒く塗りつぶして下さい。なお、2つ以上マークするとその問題は不正解とします。
 - (2) 所定欄以外には、記入したり、マークしたりしないで下さい。
 - (3) マークは、HBの鉛筆を使用し、黒く塗りつぶして下さい。ボールペンは使用できません。
良い例  悪い例      (薄い)
 - (4) 訂正する場合は、プラスチック消しゴムできれいに消して下さい。
 - (5) 答案用紙を汚したり、曲げたり、折ったりしないで下さい。
7. 簡易な卓上計算機（四則演算、平方根（ $\sqrt{\quad}$ ）及び百分率（%）の計算機能だけを持つもの）の使用は認めますが、それ以外の計算機や電子通信機器類を使用してはいけません。
8. 試験会場から退場するとき、問題用紙は持ち帰って下さい。（答案用紙は持ち帰らないこと）
9. その他、試験員の指示に従って受験して下さい。

【No. 01】 電気抵抗に関する記述として、**適切なもの**は次のうちどれか。

- (1) 固有抵抗は、長さ 1,000mm、断面積 1mm^2 の抵抗値であり、単位は $[\Omega\text{m}]$ を用いる。
- (2) ニクロムの固有抵抗は、銅の固有抵抗よりもわずかに小さい。
- (3) 銅線の抵抗が 2Ω ならば、 1°C 上昇すると 2.16Ω となる。
- (4) 接触抵抗のある部分は、電流を流すと熱で酸化し、ますます電流の流れが悪くなる。

【No. 02】 図に示す電気回路に関する記述として、**不適切なもの**は次のうちどれか。

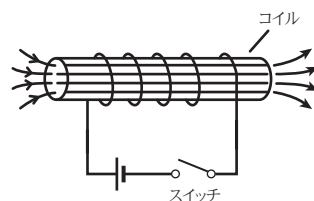
(図)



- (1) R_1 の抵抗値が R_2 の抵抗値の 2 倍である場合、 R_1 の電圧降下は R_2 の電圧降下の 2 倍になる。
- (2) 導線の抵抗が R_3 の場合、合成抵抗 $R = R_1 + R_2 + R_3$ である。
- (3) 導線の抵抗値が大きいほど、回路に流れる電流値は大きくなる。
- (4) 短絡により R_1 の抵抗値が小さくなった場合、回路に流れる電流値が大きくなる。

【No. 03】 図の回路の自己誘導作用に関する記述として、**不適切なもの**は次のうちどれか。

(図)



- (1) スイッチを閉じてコイルに電流が流れると、図の矢印が示す方向に磁束ができる。
- (2) スイッチを開くと、コイル内に起電力が生じ、電流を切られまいとする。
- (3) 自己誘導作用は、コイルの巻数が多いほど大きく作用する。
- (4) スイッチを閉じた瞬間は、自己誘導作用により急激に大電流が流れる。

【No. 04】 コンデンサに関する記述として、**不適切なもの**は次のうちどれか。

- (1) コンデンサを直列接続すると、電圧 E が個々のコンデンサに分割されて配分されるため、回路に高い電圧を加えることができる。
- (2) コンデンサの静電容量 C の単位は、 $[F]$ （ファラッド）であり、一般には μF （マイクロ・ファラッド）で表している。
- (3) コンデンサに蓄えられる電荷 Q には、 $Q = C E$ の関係があり、加えられた電圧に比例する。
- (4) コンデンサを直列接続した場合の合成静電容量は、各コンデンサの静電容量の和に等しい。

【No. 05】 交流（AC）に関する記述として、**不適切なもの**は次のうちどれか。

- (1) 正弦波交流の場合、実効値は、最大値の0.707倍である。
- (2) 抵抗だけの回路に交流電圧を加えた場合、電流の位相は、電圧の位相より90度進む。
- (3) コンデンサの交流的抵抗を容量リアクタンスといい、単位は $[\Omega]$ を用いる。
- (4) 抵抗とリアクタンスとの組合せによる電気回路においては、交流に対して示す抵抗をインピーダンスといい、単位は $[\Omega]$ を用いる。

【No. 06】 半導体に関する記述として、**不適切なもの**は次のうちどれか。

- (1) ダイオードへの逆方向電圧を次第に高めると、急激に大きな電流が流れるが、この急激に電流が流れ出すときの電圧を降伏電圧という。
- (2) ツェナ・ダイオードには、逆方向に電圧を加えると比較的低い電圧で急激に電流が流れ出す特性があり、定電圧回路や電圧検出回路に使われる。
- (3) PNPトランジスタは、わずかなベース電流を断続することによって、大きなコレクタ電流を断続できるので、スイッチ回路に使用することができる。
- (4) 負特性サーミスタは、温度が上昇すると電気抵抗が大きく減少する。

【No. 07】 論理回路に関する記述として、**不適切なもの**は次のうちどれか。

- (1) 2つのスイッチで構成されるAND回路では、いずれか1つ、又は両方のスイッチからの入力が「1」になると出力が「1」になる。
- (2) 2つのスイッチで構成されるOR回路では、いずれか1つ、又は両方のスイッチからの入力が「1」になると出力が「1」になる。
- (3) 1つのスイッチで構成されるNOT回路では、スイッチからの入力が「0」になると出力が「1」になる。
- (4) 2つのスイッチで構成されるNOR回路では、いずれか1つ、又は両方のスイッチからの入力が「1」になると出力が「0」になる。

【No. 08】 鉛バッテリーに関する記述として、**適切なもの**は次のうちどれか。

- (1) 鉛バッテリーの容量が大きいものは起電力も大きい。
- (2) 外部から化学的エネルギーを与えると、元の形の電氣的エネルギーとして蓄えることができる装置である。
- (3) 自動車用バッテリーの重要な役割は、エンジン始動時のオルタネータに電力を供給することである。
- (4) 電解液の比重 1.280 の場合、電解液の温度が -30°C ～ 20°C の間で高くなるほど起電力は大きくなる。

【No. 09】 鉛バッテリーの準定電圧充電法に関する記述として、**適切なもの**は次のうちどれか。

- (1) バッテリーの5時間率容量の1/10の電流で行う充電方法である。
- (2) 充電初期には大きな充電電流が流れるが、充電の進行に伴うバッテリー端子電圧の上昇と共に充電電流が減少していく充電方法である。
- (3) 一定の電圧をバッテリーに与えて充電する充電方法である。
- (4) 大きな電流（5時間率容量の値以下）で充電し、放電量の幾分かを補う充電方法である。

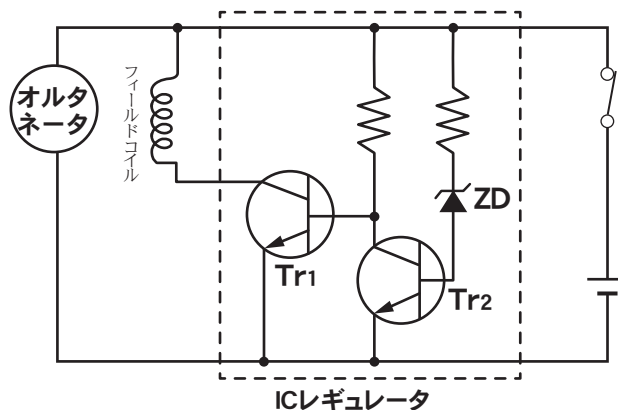
【No. 10】 オルタネータに関する記述として、**不適切なもの**は次のうちどれか。

- (1) 発生した電圧を直接電気負荷等に供給すると、回転が高くなった場合に過充電や故障の原因となることから、レギュレータを用いて出力電圧を一定に制御する必要がある。
- (2) 徐励発電機能は、アイドリング時にヘッドライト作動等によりオルタネータ出力が急増する場合、発電量を徐々に増加させ一時的にエンジン回転の落ち込み量を低減させている。
- (3) ロータは界磁として働く部分でシャフトと一体となり回転し、ポールコア（磁極）、ロータコイル（フィールド・コイル）、スリップリング、シャフトなどによって構成されている。
- (4) ステータには3個の独立したステータコイルが巻かれており、ロータの回転に伴い直流電流が発生する。

【No. 11】 図に示す充電装置のICレギュレータ回路に関する次の文章の（イ）と（ロ）に当てはまるものとして、下の組み合わせのうち、**適切なもの**はどれか。

出力電圧が高い時は、ツェナダイオード（ZD）が（イ）ため、トランジスタ Tr_1 が（ロ）となり、フィールド電流が流れなくなるため出力電圧が低下する。

（図）



- | | （イ） | （ロ） |
|-----|-------|-----|
| (1) | 導通する | ON |
| (2) | 導通する | OFF |
| (3) | 導通しない | ON |
| (4) | 導通しない | OFF |

【No. 12】 図のようなオシロスコープを使ったオルタネータの点検において、オルタネータ B 端子（バッテリー端子）電圧の出力波形の説明で、**不適切なものは次のうちどれか。**

- (1) ステータコイル一相ショート



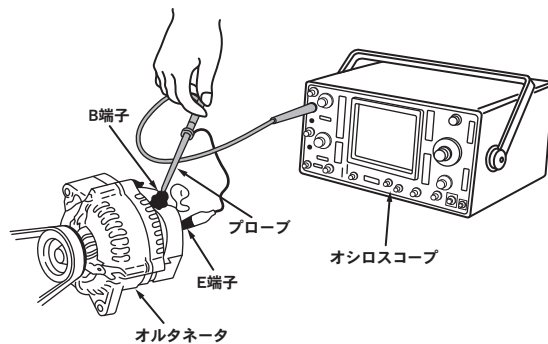
- (2) ステータコイル一相断線 (図)



- (3) ダイオード 1 個ショート



- (4) ダイオード 1 個オープン



【No. 13】 オルタネータの分解点検に関する記述として、**不適切なものは次のうちどれか。**

- (1) ベアリングの点検では、ベアリングを指先で軽く回したとき、動きが滑らかで引っ掛かりや異音、がたなどがないかを確認する。
- (2) ブラシのしゅう動点検では、ブラシが円滑にブラシホルダ内をしゅう動するかどうかを、軽く指先で押して確認する。
- (3) ロータ・コイルの点検では、メガテスタを用いて、スリップリングとロータコア間の絶縁を確認する。
- (4) ステータの点検では、サーキットテスタの抵抗レンジを用いて、ステータから出ている各相の引き出し線と中性点（N端子）間にそれぞれ導通がないことを確認する。

【No. 14】 充電装置取扱い上の注意に関する記述として、**不適切なもの**はどれか。

- (1) バッテリーを逆接続すると、ダイオードでバッテリーを短絡することとなり大電流が流れ、ダイオードやＩＣレギュレータの破損及びワイヤ・ハーネスが焼損する原因となる。
- (2) ベルトの張り過ぎは充電不足、また、ベルトの張りの緩みは早期切断やベアリングの偏摩耗の原因となる。
- (3) 車載状態でクイック・チャージを用いてバッテリーを急速充電する場合、バッテリー端子を外すことで異常パルス電圧による半導体製品の破壊を防止することができる。
- (4) ＩＣレギュレータのケースはアース電位であるため、確実にオルタネータへボルト締めを行い、アースに落ちていることを確認する。

【No. 15】 スタータに用いられる直巻式モータに関する記述として、**適切なもの**は次のうちどれか。

- (1) フィールドコイルとアーマチュアコイルが並列に接続されている。
- (2) 回りはじめは非常に小さなトルクが発生する。
- (3) トルクはアーマチュア電流にほぼ比例する。
- (4) 高負荷時の高速回転を抑えるためのブレーキを備えたものがある。

【No. 16】 ピニオンシフト型スタータの構造に関する記述として、**不適切なもの**は次のうちどれか。

- (1) フィールドは、ヨーク、ポールコア、およびフィールドコイルから構成されている。
- (2) アーマチュアは、コア（鉄心）、シャフト、コイル、コンミテータ、などで構成されている。
- (3) オーバランニングクラッチは、アーマチュアのオーバランによる回転からエンジンの破損を防止するためのものである。
- (4) マグネットスイッチは、ピニオンギヤの押し出しとモータ回路のメイン電源をＯＮ，ＯＦＦする働きをする。

【No. 17】 グロープラグの取り扱い上の注意に関する記述として、**不適切なもの**は次のうちどれか。

- (1) グロープラグの取り付けは、規定の締め付けトルクで確実に行うこと。
- (2) グロープラグは、規定の定格のプラグを使用すること。
- (3) グロープラグは、清掃してはならない。
- (4) セラミック型グロープラグは、脱着時に落下しないようにすること。

【No. 18】 リダクション型スタータに関する記述として、**適切なもの**は次のうちどれか。

- (1) アーマチュア回転速度を 3 ～ 4 倍に増速させてピニオンギヤを駆動する。
- (2) コンミテータ端面とリヤエンドフレームとの摩擦による機械式ブレーキを採用している。
- (3) オーバランニングクラッチは、両端をベアリングで固定されており、マグネットスイッチのプランジャシャフトによりピニオンギヤを引き戻している。
- (4) 始動スイッチを ON にするとプランジャが吸引され、プランジャシャフトがクラッチのピニオンシャフトを押し出し、そこでピニオンギヤがリングギヤにかみ合う。

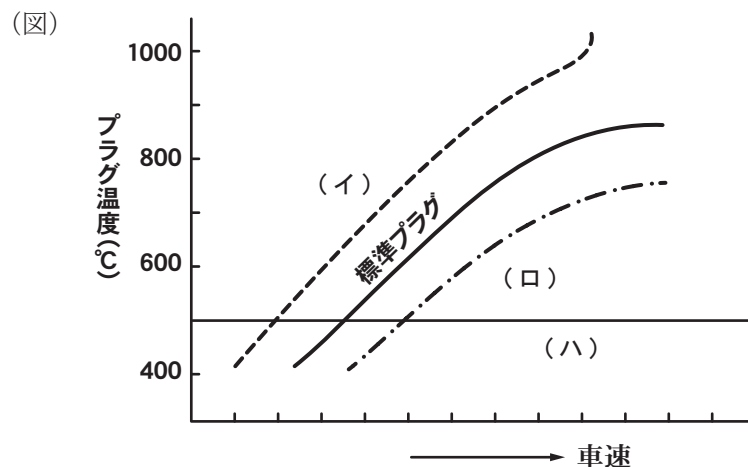
【No. 19】 リダクション型スタータの分解点検に関する記述として、**適切なもの**は次のうちどれか。

- (1) ブラシの摩耗の点検では、厚さの中央付近の長さが規定値に満たない場合は交換する。
- (2) アーマチュアの点検では、ポールコア表面の傷、偏摩耗、焼損、アンダカットの深さなどを点検し、不具合がある場合は交換する。
- (3) フィールドコイルの点検では、フィールドコイルの断線の有無を、必ずメガテスタを用いて、コネクティングリードのターミナルと各ブラシ間を測定し、導通の有無を確認する。
- (4) オーバランニングクラッチ及びピニオンの点検では、減速ギヤを押さえておいて、ピニオンを駆動方向に回転させたときにロックし、逆方向に回転させたときには、スムーズに回転することを確認する。

【No. 20】 予熱装置に関する記述として、**適切なもの**は次のうちどれか。

- (1) グロープラグ方式の予熱装置のうち、急速予熱型は、バッテリー電圧をプラグに直接印加する。
- (2) グロープラグ方式の予熱装置のうち、通常型は、プラグに直列接続された外部抵抗を介してバッテリー電圧を印加する。
- (3) グロープラグ方式の予熱装置のうち、自己温度制御型は、急速予熱方式に比べてグロー時間は短くなる。
- (4) インテークエアヒータ方式は、直接噴射式ジゼルエンジンの予熱として用いられる。

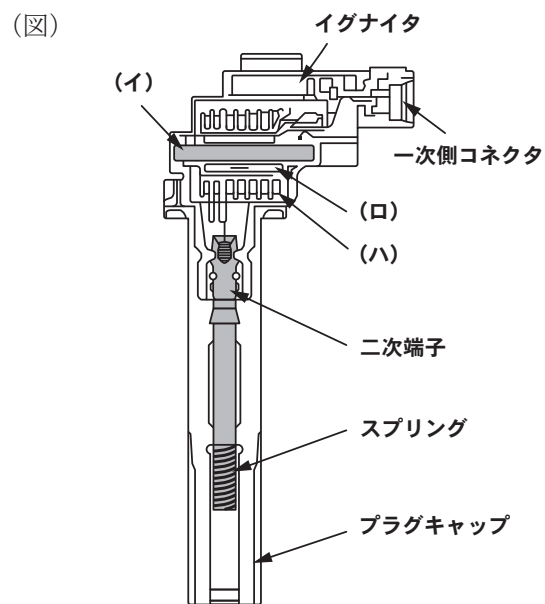
【No. 21】 図に示す車速とスパークプラグ温度の関係において（イ）～（ハ）に当てはまるものとして、下の組み合わせのうち、**適切なもの**は次のうちどれか。



- | | (イ) | (ロ) | (ハ) |
|-----|---------|---------|-------------|
| (1) | 低熱価型プラグ | 高熱価型プラグ | プレイグニッション温度 |
| (2) | 低熱価型プラグ | 高熱価型プラグ | 自己清浄温度 |
| (3) | 高熱価型プラグ | 低熱価型プラグ | プレイグニッション温度 |
| (4) | 高熱価型プラグ | 低熱価型プラグ | 自己清浄温度 |

【No. 22】 スパークプラグ直付けコイルの、図に示す一次コイルと二次コイルについて、
 (イ) ～ (ハ) に当てはまるものとして、下の組み合わせのうち、**適切なもの**はどれか。

	(イ)	(ロ)	(ハ)
(1)	二次コイル	一次コイル	コア
(2)	コア	一次コイル	二次コイル
(3)	コア	二次コイル	一次コイル
(4)	一次コイル	コア	二次コイル

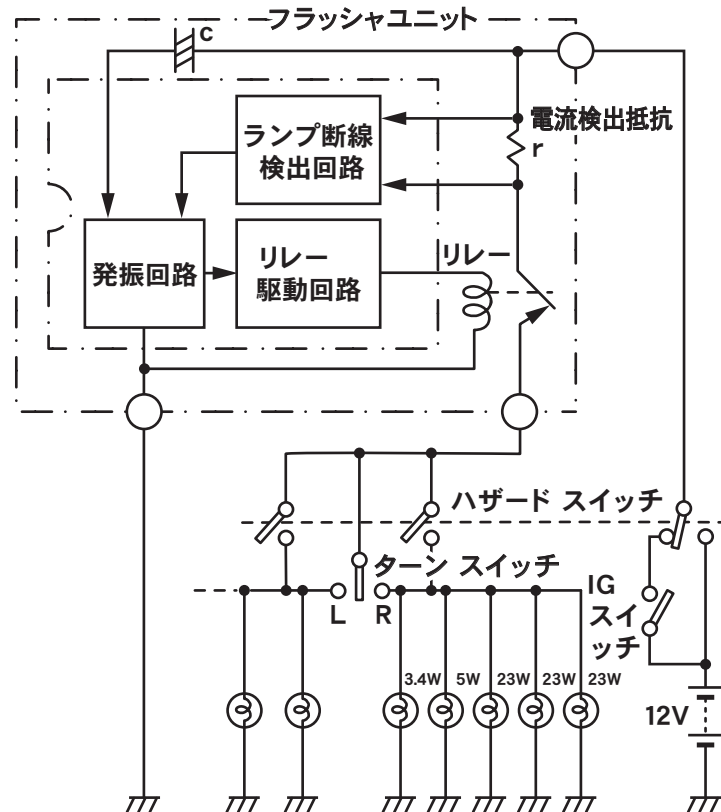


【No. 23】 ディスチャージヘッドランプに関する記述として、**不適切なもの**は次のうちどれか。

- (1) バルブはメタルハライドランプの一種で、ハロゲン化金属塩が封入されている。
- (2) ライトコントロールコンピュータの出力端子部には、高電圧が発生する。
- (3) ハロゲンランプと異なり発光スペクトルの中の赤外線含有量が多いため、明るさの割に発熱が少ない。
- (4) ハロゲンヘッドランプと比較すると、一般に光量 2 ～ 3 倍、寿命 2 倍、消費電力 40% 減である。

【No. 24】 図のような I C 式フラッシュユニットを備えたターンシグナルランプに関する記述として、**不適切なもの**は次のうちどれか。

(図)



- (1) ランプが 1 灯断線すると、点滅回数は増加する。
- (2) ランプが 1 灯断線すると、フラッシュユニット内の電流検出抵抗を通る電流が増加する。
- (3) フラッシュユニット内の電流検出抵抗は、ランプと直列接続されている。
- (4) ランプ断線検出回路は、電流検出抵抗両端の電圧変化を検出している。

【No. 25】 電気装置や配線の保護に関する記述として、**不適切なもの**は次のうちどれか。

- (1) ヒューズは、電気回路に過大な電流が流れたときに、電流の熱作用によって可溶片が溶断する。
- (2) 定格電圧 32V 以下、定格電流 30A 以下のヒューズに、定格電流の 110% の電流が流れ続けたときの溶断時間は 0.25 秒である。
- (3) サーキットブレーカは、装置の負荷が比較的大きい場合にヒューズの代わりに使われることがあり、その種類には、手動復帰型と自動復帰型がある。
- (4) ヒューズブルリンクの溶断電流は、30A、100A あるいはそれ以上の値に設定されている。

【No. 26】 低速、高速の 2 段変速用のフェライト式ワイパモータに関する記述として、**適切なもの**は次のうちどれか。

- (1) ブラシが 4 個用いられている。
- (2) ブラシが 2 個用いられている。
- (3) 高速時にはすべてのブラシに電流が流れる。
- (4) ブラシホルダはギヤハウジング側に取り付けられている。

【No. 27】 保安装置のメータ（計器）に関する記述として、**不適切なもの**は次のうちどれか。

- (1) ウォータテンパラチャージのセンダ部に用いられる負特性サーミスタは、冷却水温の低いときは抵抗値が低く、冷却水温が高いときは抵抗値が高くなる特性をもっている。
- (2) オイルプレッシャインジケータでは、エンジンが始動して油圧が規定値に達するとプレッシャスイッチのダイヤフラムはスプリングに打ち勝ち、接点を開き、ランプは消灯する。
- (3) 磁気抵抗素子（MR E）式スピードセンサでは、磁気抵抗素子に流れる電流の方向に対して、磁力線が作用する方向によって抵抗の大きさが変化する特性をもっている。
- (4) 交差コイル式メータは、マグネット式回転子の外側に 2 つのコイルを 90° ずらして巻いている。

【No. 28】 負特性サーミスタを用いたフューエルレベルインジケータについて、次の文章の（イ）～（ハ）に当てはまるものとして、下の組み合わせのうち、**適切なもの**はどれか。

タンク内の燃料が多いとき、サーミスタはガソリンに浸っているので、サーミスタの温度が（イ）、サーミスタの抵抗は（ロ）。したがって回路を流れる電流が（ハ）のでランプは点灯しない。

- | | （イ） | （ロ） | （ハ） |
|-----|-----|-----|-----|
| (1) | 低く | 小さい | 多い |
| (2) | 低く | 大きい | 少ない |
| (3) | 高く | 大きい | 少ない |
| (4) | 高く | 小さい | 多い |

【No. 29】 液体や気体の温度を検出する温度センサにおいて、構造的に使用するものとして、**不適切なものは次のうちどれか。**

- (1) サーモワックス式
- (2) バイメタル式
- (3) ピエゾ抵抗式
- (4) サーモフェライト式

【No. 30】 エアコンディショナに関する記述として、**不適切なものは次のうちどれか。**

- (1) フロスト現象とは、 0°C 以下になると空気中の水分によってエバポレータに霜付き現象が発生し、風が通らなくなることを用いる。
- (2) エアコンの冷媒に使用されているCFC12（R12）を大気中に放出すると成層圏のオゾン層を破壊し、その結果、人の健康や生態系への悪影響が懸念される。
- (3) ドレーンホースから車外に放出される水滴は、エバポレータフィンによって露点温度以下に冷却された空気中の水分が凝縮したものである。
- (4) 方斜板式コンプレッサの可変容量機構は、固定スクロールと可変スクロールによって仕切られる空間の容量が変化し、冷媒を吸入・圧縮する。

【No. 31】 エアコンディショナの整備（冷媒の充填）に関する記述として、**不適切なもの**は次のうちどれか。

- (1) サブクールサイクルでは、泡消え点が冷房能力安定域の手前にあるため、泡消え点で冷媒ガスの充填を止めると冷却能力が不足気味になる。
- (2) 真空引きの目的は、冷凍サイクル内の冷媒を完全に抜き取るためである。
- (3) 真空引きを 10 分行った後は、5 分放置した後、冷媒充填前に機密チェックを行う。
- (4) 冷媒充填の作業に使用するゲージマニホールドは、真空引きや、トラブルシューティングでも使用する。

【No. 32】 冷凍サイクルを構成する部品の中で、車外に熱を放出する役割をしている部品として、**適切なもの**は次のうちどれか。

- (1) コンプレッサ
- (2) コンデンサ
- (3) エキスパンションバルブ
- (4) エバポレータ

【No. 33】 オート・エアコンの制御に関する記述として、**適切なもの**は次のうちどれか。

- (1) 吹き出し温度制御は、外気温度、設定温度、車室内温度などの条件によって、吹き出しの温度に見合った風量を決定する。
- (2) ウォームアップ制御は、冷却水温が低く、吹き出し口が F O O T モードの時、足元からの冷風吹き出しによる不快感を防いでいる。
- (3) ブロワ遅動風制御は、ブロワモータ起動後の起動電流からブロワコントローラを保護している。
- (4) オート制御は、除湿能力を変化させガラスの曇り限界の湿度に車室内を保たせている。

【No. 34】 エアコンディショナの故障診断に関する記述として、**適切なもの**は次のうちどれか。

- (1) 高圧側の圧力が高すぎる原因として、コンデンサフィンが目詰まりが考えられる。
- (2) 低圧側の圧力が高すぎる原因として、感熱筒のガス漏れが考えられる。
- (3) 低圧側の圧力が高すぎる原因として、エキスパンションバルブの詰まりが考えられる。
- (4) 高圧側の圧力が高すぎる原因として、コンプレッサ吐出弁破損が考えられる。

【No. 35】 エンジン電子制御システムに関する記述として、**不適切なもの**は次のうちどれか。

- (1) 電子制御スロットルを搭載するエンジン制御システムでは、ISC V（アイドルスピードコントロールバルブ）を使用せずに電子制御スロットルにてアイドル回転数制御を行う。
- (2) MAP S（マニホールドアブソリュートプレッシャセンサ）は、シリコン（単結晶）に応力を加えると、その電気抵抗が変化する性質（ピエゾ抵抗効果）を利用した半導体センサである。
- (3) エンジンECUは、カムポジションセンサの信号によりエンジン回転数を算出し、クランクポジションセンサの信号により気筒判別を行う。
- (4) 熱線式エアフロメータは、発熱抵抗、吸気温度補正用抵抗、吸気温センサ、制御回路部（基板）から構成され、発熱抵抗の温度を一定に保つことで吸入空気量を検出している。

【No. 36】 エンジン電子制御システムの燃料系統に関する記述として、**不適切なもの**は次のうちどれか。

- (1) エンジン電子制御システムの燃料系統は、燃焼に必要な燃料をフューエルタンクからインジェクタに圧送し、インテークマニホールド内に噴射するシステムである。
- (2) フューエルポンプ制御のレジスタ制御式は、リレーを使った２段階の流量制御を行っている。
- (3) 同時噴射方式は、燃料を２回に分けて全シリンダに同時に噴射する方式で、エンジン１回転につき２回噴射する。
- (4) パルセーションダンパは、デリバリバルブ上流の車両配管への脈動伝達を低減し騒音を低減させる。

【No. 37】 エンジン電子制御システムの制御系統に関する記述として、**適切なもの**は次のうちどれか。

- (1) MAPS（マニホールドアブソリュートプレッシャセンサ）による空気量計測は、「吸気管内圧力がエンジンの一行程当たりの吸入空気量にほぼ比例する」という原理に基づいている。
- (2) O_2 センサは、理論空燃比を境にして濃い場合は約 0V、薄い場合は約 1V を出力する。
- (3) 始動後増量は、始動に適した濃い混合気を作る。
- (4) 点火時期制御のアイドル安定化補正は、アイドル回転が低下した時に遅角させ、アイドル回転を安定させる。

【No. 38】 「道路運送車両法」及び「道路運送車両法施行規則」に照らし、自動車の種別が小型自動車に該当するものとして、**適切なもの**は次のうちどれか。ただし、自動車の製作年は令和4年とする。

- (1) 長さ4.69m、幅1.69m、高さ1.98m及び原動機の総排気量が2.98ℓであって燃料の種類が軽油の貨物自動車
- (2) 長さ3.39m、幅1.47m、高さ1.75及び原動機の総排気量が0.65ℓであって燃料の種類がガソリンの乗用自動車
- (3) 長さ4.71m、幅1.73m、高さ1.82m及び原動機の総排気量が1.79ℓであって燃料の種類がガソリンの乗用自動車
- (4) 長さ4.30m、幅1.78m、高さ1.43m及び原動機の総排気量が1.59ℓであって燃料の種類がガソリンの乗用自動車

【No. 39】 「自動車点検基準」に規定された「事業用自動車等の定期点検基準」のうち、点検時期が3月ごととされている制動装置の点検箇所・項目として、**適切なもの**は次のうちどれか。

- (1) ブレーキ・チャンバのロッドのストローク
- (2) ブレーキ・ドラムの摩耗及び損傷
- (3) 倍力装置の機能
- (4) バック・プレートの状態

【No. 40】 「道路運送車両の保安基準」及び「道路運送車両の保安基準の細目を定める告示」に照らし、後部反射器に関する基準の記述として、**不適切なもの**は次のうちどれか。

- (1) 後部反射器は、反射器が損傷し、又は反射面が著しく汚損しているものでないこと。
- (2) 後部反射器は、夜間にその後方300mの距離から走行用前照灯で照射した場合にその反射光を照射位置から確認できるものであること。
- (3) 後部反射器による反射光の色は、赤色であること。
- (4) 後部反射器は、自動車の前方に表示しないように取り付けられていること。